



くるくる風車Ⅱ



個人出展

岡山県立倉敷鷺羽高等学校 山村 寿彦

●どんな工作・実験なの？

手で持って、正面から風が当たるようにするとよく回る「くるくる風車Ⅱ」を作ります。

●工作・実験のしかたとコツ

【用意するもの】

画用紙（またはコピー用紙、薄いプラスチックシート）、竹串、ストロー、画びょう、テープ、はさみ、ステープラー

【工作のしかた】

I. 風車のはねを作ります

- (1)画用紙を図1の型紙のとおり実線に沿って4つのパーツに切ります。
- (2)画びょうで黒丸のところに穴をあけます。
- (3)(1)で切り取った4つのパーツの端を、図1の同じ番号を重ねて順番にステープラーで止めます（図2）。

II. 風車を組み立てます

- (1)ストローを5cmくらい（この長さによって回り方がかわります）に切ります。
- (2)II(3)で作ったパーツの間にII(1)で切ったストローを挟んで図3のように竹串を通し、突き出た竹串の先端にテープを巻きます。
- (3)ストローを竹串より2～3cmほど短く切って、竹串にさします。ストローからはみ出た部分の竹串にテープを巻きます（図4、図5）。

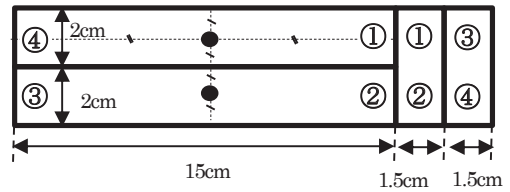


図1 型紙

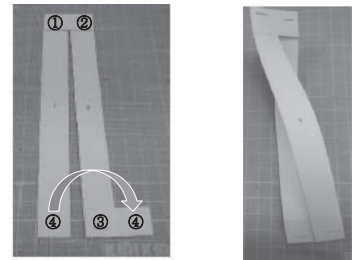


図2

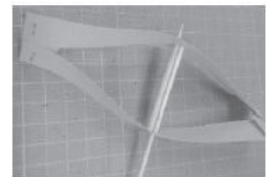


図3



図4

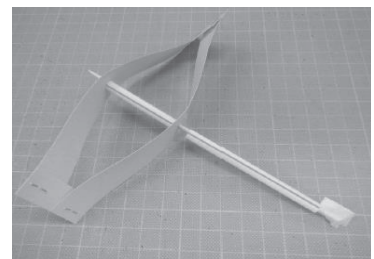


図5

【実験のしかた】

ストローの長い方を持って、正面から風を当てて、くるくる回しましょう。

●気をつけよう

- ・竹串や画びょうで手を刺さないようにしましょう。
- ・風車をまわすときには、他人とぶつからないように注意しましょう。

●もっとくわしく知るために

- ・型紙の大きさや素材を変えて、いろいろ試してみましょう。
- ・「青少年のための科学の祭典 2015 全国大会」実験解説集 p.12 日本科学技術振興財団（2015）